

MAG リモート会議のまとめ

開催日時：2025 年 5 月 13 日、日本時間 20 時から

1. IGF オスロ会議、ノルウェー政府からの報告

- ・ ノルウェー首相も月曜日か火曜日には出席予定
- ・ Music night は実施する
- ・ 日曜日には、social event を開催する

2. IGF 事務局からの報告

- ・ 6 月 1 日までに参加者の登録申請を出してほしい
- ・ 会議のスケジュール案や選ばれたセッションは公開した
- ・ 現時点で 3800 人以上が登録申請済み

3. 旅費支援やビザの件

- ・ （日本の関係者はご参考までであるが）今から 5～7 日程度で、申請への回答が行く予定。
- ・ 約 100～120 人程度が認められる予定
- ・ ビザについては、IGF 会議登録の確認書が必要な申請書類

4. メインセッションの準備

- ・ セッション 1=The Governance of New Technologies and its Implications on Human Rights, Access, and Inclusion（Amrita Choudhury が代表して準備状況説明）
 - 5 人のスピーカーが 4 分ずつプレゼン。途上国から 2, 3 の具体例を示すビデオ。次の論点について、5 人のスピーカーがさらにコメント。質疑のような流れで進める。スピーカー候補もかなり提案されている。
- ・ セッション 2=The governance of Artificial Intelligence (Sook-Jung Dofel が状況説明)

- PNAI が中心になって、セッションの内容を議論している。国連の中満事務次長のビデオに始まり、国連のハイレベルのアドバイザリーボードや OECD、AI のビジネスリーダー（Meta や Microsoft、OpenAI などが候補）等が参加する計画。
- セッション 3 = The Impact of the IGF in the Information Society (Olga Cavalli から現状説明)
 - 6 人のスピーカーを検討中。
 - “What has the IGF meant to you and what do you want it to mean for you in the future”が第一の論点。続いて、IGF が WSIS や GDC とどうつながるのか？ マルチステークホルダーモデルとそれを実現している IGF や NRI、DC などがインターネットの活用はどう貢献し、リスクを阻止したか？などを論点とする。

5. その他のセッションの報告

- Policy Network (PNAI 等)、Dynamic Coalition (DC)などのセッションの準備状況がそれぞれ説明された。
- MAG 議長の Carol Roach は、UN Office for Digital and Emerging Technologies (ODET)の Amandeep Gill と、IGF が GDC をどう help できるかなどについて話しているとのこと。

以上